

幼児はテレビをどう見ているか

～平成23年6月「幼児視聴率調査」から～

世論調査部(調査システム) 塚本恭子

はじめに

2011(平成23)年6月「全国個人視聴率調査」(対象は全国7歳以上)¹⁾と同時期に実施した「幼児視聴率調査」の結果を報告する。

調査は6月6日(月)～6月12日(日)の1週間、東京30キロ圏に住む2～6歳(就学前)を対象に実施した。住民基本台帳から層化無作為2段抽出した幼児1,000人(10人×100地点)に郵送法(15分単位日記式、保護者による代理記

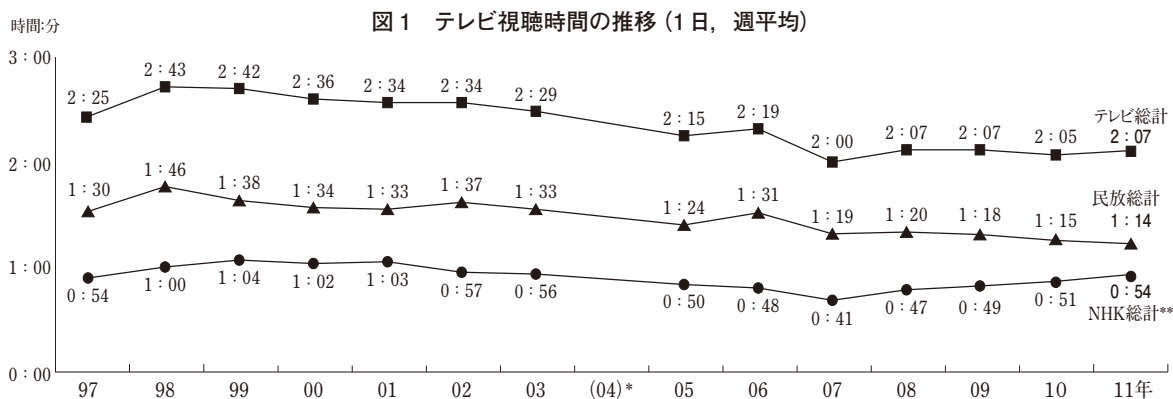
入)で行い、有効数は638人(有効率63.8%)であった。

有効サンプルの構成は表1のとおりである。これまで、就園状況について「保育園・幼稚園児」と「それ以外」の2つに分けていたが、今回から就園状況を「保育園児」「幼稚園児」「それ以外」の3つに分けた。

なお、回答者(幼児の世話を最もよくしている保護者に依頼)の96%は母親であるため、以下の本文では保護者のことを母親と表記する。

表1 サンプル構成

全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	保育園児	幼稚園児	それ以外	不明
638人	330	308	118	174	155	191	207	305	125	1
100.0%	51.7	48.3	18.5	27.3	24.3	29.9	32.4	47.8	19.6	0.2



*2004年は「幼児視聴率調査」を実施していない

**2008～2010年 NHK総計中、BSはBS1・BS2・BSハイビジョンの3波
2011年はBS1・BSプレミアムの2波

1. テレビ視聴状況

(1) テレビを見るのは1日2時間7分

今回、2～6歳の幼児のテレビ総計の視聴時間は週平均1日あたり2時間7分で、前年と同程度である。幼児のテレビ視聴時間は1998年(2時間43分)から漸減し、2007年には2時間になった。2008年以後は、そのまま2時間程度の水準で推移している(図1)。

NHK・民放別には、NHK総計54分に対し民放総計は1時間14分である。NHK総計の内訳をみると、総合3分、教育(Eテレ)49分、衛星計0分である。幼児のNHK視聴とは、すなわちEテレの視聴を意味するといえる。

性別・年齢別にテレビ総計の視聴時間をみると、どの層の間にも有意差はみられなかった(表2)。NHK・民放別にみると、NHK総計の視聴時間は2・3歳が58分、4歳が59分であるのに対し、5・6歳は39分と短めである。民放総計をみると5・6歳は1時間20分視聴しており、民放の視聴時間がNHKの2倍と長い。ちなみに、前年・前々年のテレビ総計の視聴時間と比較して、すべての性別・年齢で変化はなかった。

曜日別の視聴時間は、平日平均は2時間7分で、土曜は1時間55分、日曜は2時間23分だった(表3)。日曜の視聴時間が前年(2時間5分)より長めなのは、前年はワールドカップ関連番組の放送で休止された日曜朝のテレビ朝日「仮面ライダーW」(今年は「仮面ライダーオーズ」)、「ハートキャッチプリキュア!」(今年は「スイートプリキュア♪」)が、今回は通常どおり放送されたことが関係していると思われる。年齢別にみると、4歳以上で平日より日曜の視聴時間のほうが長めになっている。これは、2・3歳が平日Eテレの帯番組をよく見ているのに比べ、4歳以上は日曜朝や日曜夜の民放人気アニメなどをよく見ていることによると思われる。

(2) 母親のテレビに対する態度との関連

これまでの幼児視聴率調査などで、子どもの視聴時間は母親の視聴時間と関連しているという知見が得られている。今回の調査でも、母親の視聴時間が3時間以上と長い場合、幼児のテレビ視聴時間も3時間12分と長く、母親の視聴時間が2時間未満と短い場合、幼児の視聴時間も1時間23分と、長時間視聴の場合と

表2 NHK・民放別男女年齢別平均視聴時間(週平均)

(時間:分)

		全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
NHK総計	09年	0:49	0:48	0:49	0:55	0:52	0:52	0:40
	10年	0:51	0:50	0:51	0:59	0:59	0:47	0:42
	11年	0:54	0:51	0:55	0:58	0:58	0:59	0:39
民放総計	09年	1:18	1:24	1:11	0:56	1:16	1:20	1:27
	10年	1:15	1:19	1:11	1:07	1:02	1:13	1:31
	11年	1:14	1:13	1:15	1:10	1:14	1:10	1:20
テレビ総計	09年	2:07	2:12	2:00	1:52	2:09	2:12	2:07
	10年	2:05	2:09	2:02	2:07	2:01	1:59	2:13
	11年	2:07	2:04	2:09	2:08	2:12	2:10	1:59

表3 曜日別男女年齢別平均視聴時間(テレビ総計)

(時間:分)

	11年	全体 10年	09年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
平日	2:07	(2:07)	(2:04)	2:02	2:10	2:12	2:13	2:09	1:53
土曜	1:55	(2:00)	(1:55)	1:55	1:54	1:48	2:02	1:54	1:53
日曜	2:23	(2:05)	(2:24)	2:25	2:20	2:03	2:20	2:29	2:32

比べて1時間以上短くなっている(表4)。

母親の視聴時間の推移をみると(表5)、2000年代はじめには40%程度だった「視聴時間が3時間以上」という母親は、2007年には29%まで減少し、今回は27%である。前項で述べたとおり、幼児の視聴時間も1998年から2007年の間に漸減し、以後2007年と同様の水準で推移している。

母親の視聴時間の減少には、働く母親の増加が影響していることは、これまでの調査で指摘されている。母親の有職者の割合は、2000年は30%であったのに対し、2008年以後は35%強の水準を維持しており、2011年では38%であった。今後、働く母親がさらに増えると、母親の視聴時間が減少し、子どもの視聴時間も現状より減少することが考えられる。

また、この調査では子どもへのテレビの見せ

表4 母親の視聴時間別にみた幼児の視聴時間
(テレビ総計、週平均)

	(時間：分)			
	全体	短 (2時間未満)	中 (2～3時間)	長 (3時間以上)
09年	2：07	1：32	2：07	2：56
10年	2：05	1：26	2：15	3：07
11年	2：07	1：23	2：12	3：12

11年のサンプルの数 282人 181人 174人

表5 母親の視聴時間の推移(98年～)

	(%)		
	短 (2時間未満)	中 (2～3時間)	長 (3時間以上)
98年	34.0	24.9	40.3
99年	35.2	25.1	39.7
00年	36.5	22.9	40.6
01年	36.1	24.9	39.1
02年	33.5	27.0	39.5
03年	35.6	24.2	39.6
05年	37.3	28.3	34.4
06年	43.1	21.3	35.0
07年	46.9	23.4	29.2
08年	45.6	23.0	30.1
09年	44.0	26.2	29.3
10年	46.5	26.2	26.8
11年	44.2	28.4	27.3

方について母親にたずねている。その結果「見る時間と番組の両方を決めている」14%、「見る時間を決めている」26%、「見る番組を決めている」24%、「自由に見せている」34%となっており、全体のうちおよそ6割強の母親は、幼児へのテレビの見せ方に何らかのルールを決めている。

この母親の視聴制限から、時間と番組の両方を決めている層を「両方制限」、時間と番組のどちらかを決めている層を「どちらか制限」、自由に見せている層を「制限なし」として、視聴時間に違いがあるかどうかみてみると、両方制限層では幼児のテレビ視聴時間が1時間43分、どちらか制限層では1時間56分、制限なし層では2時間38分と、テレビの見せ方がゆるやかになるほどテレビの視聴時間が長い(表6)。

表6 母親の視聴制限別にみた幼児の視聴時間
(テレビ総計、週平均)

	(時間：分)			
	全体	両方制限	どちらか制限	制限なし
09年	2：07	1：47	1：57	2：32
10年	2：05	1：49	1：59	2：35
11年	2：07	1：43	1：56	2：38

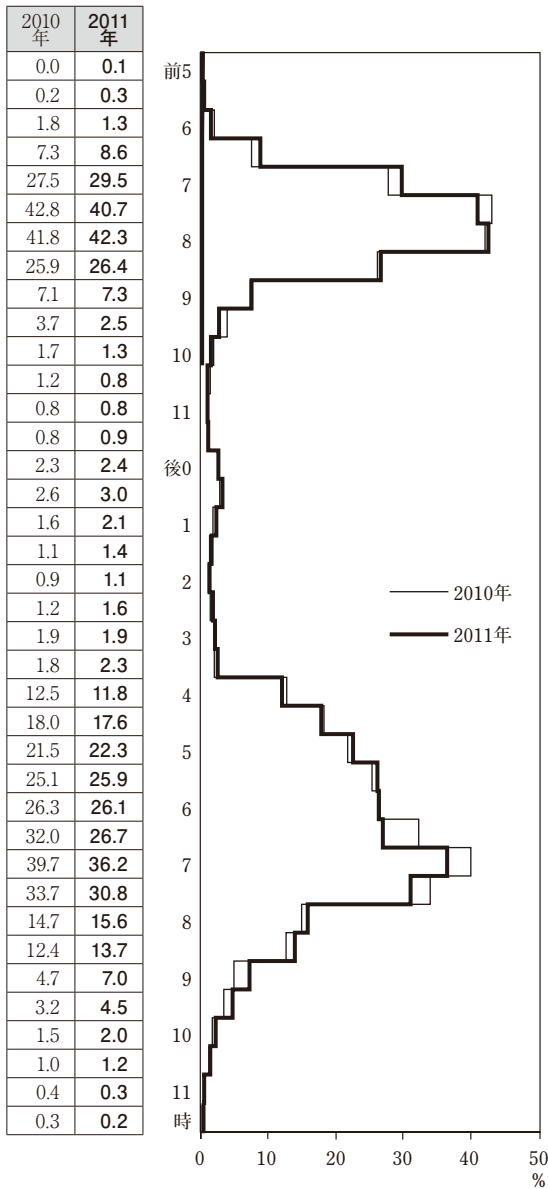
両方制限=見る時間と番組の両方を決めている
 どちらか制限=見る時間と番組のどちらかを決めている
 制限なし=自由に見せている

(3) 平日テレビが見られているのは朝と夕方

幼児の平日1日のテレビ総計の視聴状況を、30分ごとに時間を追ってグラフ化したものが図2である。幼児がテレビをよく見ている時間は、前7：00から前9：00までと、後4：00から後9：00までで、この傾向は前年までと変わらない。特によく見られているのは、朝・夕ともに幼児・子ども向けの番組やアニメ番組などが放送されている時間である。

前年と比べると、後6時台後半の視聴率が

図2 テレビ総計(平日) 30分ごとの平均視聴率



減少した。この時間にはテレビ東京の「ピラメキーン」が放送されている。「ピラメキーン」は前年視聴率が11.9%と好調だったが、今年は5.5%と大きく下がっており、その差が後6時台後半のテレビ総計の視聴率に反映したと思われる。

(4) よく見るチャンネルはEテレ

NHK・民放の各局の平均視聴率(表7)をみると、午前・午後はEテレが最もよく見られている(午前6.9%, 午後4.2%)。1日の平均でも4.3%と高く、幼児のテレビ視聴におけるEテレの存在は非常に大きい。一方、夜間ではフジテレビがよく見られ3.7%, 次いでNTVが2.6%であった。フジテレビは前年、日曜夜のアニメ「ちびまる子ちゃん」(後6:00~), 「サザエさん」(後6:30~)の視聴率が比較的良かったことなどにより夜間の平均視聴率が減少していたが、今回やや回復した。テレビ東京は、平日の「ピラメキーン」(後6:30~)の視聴率低下を反映して、夜間の平均視聴率が前年より低めである。

次に、調査を実施した1週間に、少しでもその局を見た幼児の割合(接触者率)をみってみる。Eテレがよく見られており(81%), 高い水準を維持している。平均視聴率同様、接触者率からみても、Eテレは他局と比較して圧倒的に幼児に視聴されていることがわかる(表8)。

前年より接触者率が回復したのはテレビ朝日である。前述のとおり、テレビ朝日では前年、ワールドカップ関連番組のため日曜朝の「仮面ライダー」と「プリキュア」が休止され接触者率が減少したが、今年は通常どおりの放送であったため、前々年並みに戻った。

この10年の各局の接触者率を振り返ると、Eテレは2006年頃から、NTVは2008年頃から同じ水準を保っているが、そのほかの局は接触者率がおおむね下降傾向にある。特に下降が著しい局はTBSで、今年のTBSの接触者率をみると、2006年の値のほぼ6割である。TBSに次いで大きく接触者率が下がっているのはテレビ東京である。

今回の年齢別の接触者率をまとめたものが

表7 局別平均視聴率(週平均)

(%)

	総合			Eテレ			NTV			TBS			フジ			朝日			東京		
	09	10	11年	09	10	11年	09	10	11年	09	10	11年	09	10	11年	09	10	11年	09	10	11年
午前	0.4	0.4	0.3	5.5	5.9	6.9	0.9	0.8	0.8	0.5	0.4	0.4	1.2	1.3	1.0	1.2	0.7	1.1	2.2	1.7	1.2
午後	0.1	0.2	0.2	3.6	4.1	4.2	0.5	0.5	0.7	0.2	0.2	0.3	0.6	0.7	0.6	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
夜間	0.6	0.6	0.5	2.1	1.6	1.5	1.6	2.2	2.6	1.1	1.0	1.0	4.4	3.3	3.7	1.6	1.8	1.9	1.4	2.4	1.6
1日	0.4	0.4	0.3	3.8	4.0	4.3	1.0	1.1	1.3	0.6	0.5	0.6	2.0	1.7	1.7	1.0	0.9	1.1	1.3	1.4	1.0

(午前=前5:00~後0:00, 午後=後0:00~後6:00, 夜間=後6:00~前0:00, 1日=前5:00~翌前0:00)

表8 局別接触者率の推移(週間通し)

(%)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011年
全局	96	96	98	98	96	96
総合	29	24	30	24	25	24
Eテレ	78	80	80	81	77	81
NTV	65	57	54	54	55	54
TBS	58	44	47	39	37	34
フジ	74	74	77	76	67	69
朝日	75	69	66	71	62	69
東京	68	61	63	66	59	55

表9 局別年齢別接触者率(週間通し)

(%)

	全体	2歳	3歳	4歳	5・6歳
総合	24	20	25	23	25
Eテレ	81	83	81	81	79
NTV	54	53	49	58	57
TBS	34	39	30	32	35
フジ	69	64	64	70	75
朝日	69	58	64	72	78
東京	55	35	47	60	69

表10 NHK・民放全体でよく見られている番組(放送時間10分以上)

(%)

曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
日	後6:30	フジ	サザエさん	39.4
日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	37.0
金	前8:01	Eテレ	# おかあさんといっしょ	36.9
金	後7:00	朝日	ドラえもん	33.0
火	前8:25	Eテレ	# いないないばあっ!	32.8
日	前8:00	朝日	仮面ライダーオーズ	31.1
金	後7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	30.3
木	後7:45	Eテレ	# みいつけた!	29.8
日	前8:30	朝日	スイートプリキュア♪	28.4
土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	27.8

#は帯番組で最も視聴率が高い曜日の数値(以下同様)

表9である。Eテレは他局と比べどの年齢でもよく見られている。これまでの調査では年齢が上がるにつれEテレの接触者率が下がる傾向がみられたが、今回そのような年齢による差はみられなかった。一方、民放をみると、年齢が上がると接触者率も上がる傾向がある。テレビ朝日の接触者率は2歳では58%だが5・6歳になると78%に達する。同様の傾向は、テレビ東京やフジテレビにもみられる。

(5) よく見られている「サザエさん」

NHK・民放全体で、よく幼児に見られた番組は、フジテレビ「サザエさん」(39.4%)、同「ちびまる子ちゃん」(37.0%)、Eテレ「おかあさんといっしょ」(36.9%)で、トップ3を占める番組は前年と変わらない(表10)。「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」は、いずれも前年に比べ視聴率が上向いたが、40%以上あった前々年の水準には戻っていない。

Eテレの番組では、「おかあさんといっしょ」に次いで「いないないばあっ!」「みいつけ

た!」「アニメ おさるのジョージ」が上位10番組に入った。上位に挙がるEテレの番組の顔ぶれは、前年同様である。

(6) 2・3歳でよく見られているEテレ

続いて年齢別によく見られた番組を比べたのが表11である。2・3歳はEテレの番組をよく見ており、4歳以上は民放の番組をよく見ている。この傾向はこれまでの結果と同様である。

2~5・6歳のすべての上位番組に入っているのは、「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」「おか

表 11 NHK・民放全体でよく見られている番組（年齢別）（放送時間 10 分以上）

(%)

2歳					3歳				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
月	前8:01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	39	火	前8:01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	43
木	前8:25	Eテレ #	いないいないばあっ!	36	火	前8:25	Eテレ #	いないいないばあっ!	40
日	後6:30	フジ	サザエさん	34	日	後6:30	フジ	サザエさん	37
日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	34	日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	34
土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	30	木	前7:45	Eテレ #	みいつけた!	33
土	前8:25	Eテレ	クインテット	30	金	後7:00	朝日	ドラえもん	33
火	後5:50	Eテレ #	フックブックロー	28	日	前8:00	朝日	仮面ライダーオーズ	31
木	前8:45	Eテレ #	えいごであそぼ	28	土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	29
土	前8:00	Eテレ	おかあさんといっしょ あつまれ!土曜日	28	月火	後5:30	Eテレ #	アニメ はなかっぱ	27
火	後5:40	Eテレ #	クッキンアイドル アイ!マイ!まいん!	28	火	後5:40	Eテレ #	クッキンアイドル アイ!マイ!まいん!	27
					日	前8:30	朝日	スイートプリキュア♪	27

4歳					5・6歳				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
木	前8:01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	46	日	後6:30	フジ	サザエさん	43
日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	42	金	後7:00	朝日	ドラえもん	41
日	後6:30	フジ	サザエさん	42	金	後7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	41
金	前7:45	Eテレ #	みいつけた!	39	日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	38
金	後7:00	朝日	ドラえもん	37	日	前8:00	朝日	仮面ライダーオーズ	36
木	前7:30	Eテレ #	にほんごであそぼ	36	日	前8:30	朝日	スイートプリキュア♪	33
日	前8:00	朝日	仮面ライダーオーズ	36	火	前8:01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	29
木	前8:25	Eテレ #	いないいないばあっ!	34	日	前7:30	朝日	海賊戦隊ゴーカイジャー	28
日	前8:30	朝日	スイートプリキュア♪	33	木	後7:00	東京	ポケットモンスターBW	27
金	後7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	32	月	後7:00	東京	たまごっち!	26
					火	前8:25	Eテレ #	いないいないばあっ!	26
					火	前7:45	Eテレ #	みいつけた!	26

あさんといっしょ」「いないいないばあっ!」であった。特に「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」はいずれの年齢でも上位4位以内に入っており、幅広い年齢で非常によく見られていることがわかる。また、「おかあさんといっしょ」は5・6歳児を除く年齢でトップである。このほか、3歳以上に共通して見られているのは、Eテレの「みいつけた!」、民放の「ドラえもん」「仮面ライダーオーズ」「スイートプリキュア♪」（朝日）である。

2歳では、上位10番組のうち「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」を除く8本すべてがEテレの番組であった。「おかあさんといっしょ」を筆頭に、「いないいないばあっ!」「アニメ おさるのジョージ」「クインテット」など、午前8時台の番組が多いが、新番組「フックブックロー」など、午後5時台の番組も2本入っている。

3歳では、2歳同様、「おかあさんといっしょ」がトップ、次いで「いないいないばあっ!」がよく見られた。また、「ドラえもん」「仮面ライダーオーズ」「スイートプリキュア♪」が上位に登場し、上位番組に占める民放の番組の本数(5本)が2歳よりも増加している。

4歳になると、上位番組のうち、民放番組(6本)のほうがEテレの番組(4本)よりも多くなる。

5・6歳では、さらに4歳よりも民放の番組数が増え(9本)、「海賊戦隊ゴーカイジャー」(朝日)、「ポケットモンスター ベストウイッシュ」(東京)なども上位に入っている。また、「クレヨンしんちゃん」(朝日)が「ドラえもん」と並んで2番目によく見られている。

なお、前回、兄姉のいる幼児のほうが兄姉のいない幼児に比べ民放番組をよく見ているこ

表 12 NHK・民放全体でよく見られている番組（兄弟がいる・いない別）（放送時間 10 分以上）

(%)

兄弟がいる					兄弟がいない				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
日	後 6 : 30	フジ	サザエさん	43	金	前 8 : 01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	40
金	後 7 : 00	朝日	ドラえもん	42	日	後 6 : 30	フジ	サザエさん	36
日	後 6 : 00	フジ	ちびまる子ちゃん	42	火	前 8 : 25	Eテレ #	いないいないばあっ!	34
金	後 7 : 30	朝日	クレヨンしんちゃん	40	土	前 8 : 25	Eテレ	クイントット	33
火	前 8 : 01	Eテレ #	おかあさんといっしょ	36	土	前 8 : 35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	33
日	前 8 : 00	朝日	仮面ライダーオーズ	34	日	後 6 : 00	フジ	ちびまる子ちゃん	32
火	前 8 : 25	Eテレ #	いないいないばあっ!	32	木	前 7 : 45	Eテレ #	みつつけた!	32
日	前 8 : 30	朝日	スイートブリキエアト	30	土	前 8 : 00	Eテレ	おかあさんといっしょ あつまれ!土曜日	32
火	前 7 : 45	Eテレ #	みつつけた!	28	日	前 8 : 00	朝日	仮面ライダーオーズ	28
木	後 7 : 00	東京	ポケットモンスターBW	26	月	後 5 : 30	Eテレ #	アニメ はなかつぱ	28
					金	前 7 : 30	Eテレ #	にほんごであそぼ	28

とを指摘したが²⁾、今回も同様の傾向がみられた(表 12)。なお、兄弟がいる幼児(327人)の平均年齢と兄弟がいない幼児(310人)の平均年齢には差がない。

(7) 幼児の生活とテレビ視聴

この報告の「(2) 母親のテレビに対する態度との関連」の項で、幼児のテレビ視聴時間に影響を及ぼすものとして、母親の視聴時間(およびその背景にある就業状況)や子どもへの視聴制限を挙げた。本調査は、視聴の定義として「幼稚園・保育園でのテレビ視聴」は加えていないことから、幼児の就園率および在園時間の長さも、テレビ視聴時間の長さに影響してくると思われる。

これまでの幼児視聴率調査によると、幼稚園・保育園の就園率は、2000年は72%であったが、2008年に8割を超え、以後同じ水準で推移しており、今年では全体で80%であった。なお、2歳の就園率は4割未満だが、3歳になると7割強になり、4歳には9割を超える。5・6歳児では、就園率は99%である。

また、幼稚園や保育園に通う子どもの在園時間は近年長くなる傾向にある。2010年にベネッセ次世代育成研究所によって行われた調査

によると、1995年から2010年にかけての15年間で「幼稚園児・保育園児ともに、園に向けて家を出る時刻が早くなり、家に帰る時刻は遅くなってきている」と指摘されている³⁾。

幼児の就園率が今年同様の水準を維持、もしくは上昇し、就園児の在園時間が延びて在宅時間が減少する傾向が続く場合、幼児のテレビ視聴時間はさらに減少する可能性がある。

視聴時間量だけでなく、テレビを見る時間帯にも、就園状況による幼児の生活時間の違いが反映することは、2003年の「幼児生活時間調査」⁴⁾や、これまでの幼児視聴率調査によって指摘されている。ここでは、未就園児が多い2歳児と、大多数が幼稚園・保育園のいずれかに就園している5・6歳児のテレビ視聴時間の違いについて触れたい。図3は2歳と5・6歳の平日1日のテレビ総計の視聴状況が、30分ごとにどのように推移するかをグラフ化したものである。

5・6歳の朝のテレビ視聴のピークは前7:30～8:30で、その後急激に下がる。一方、2歳の朝のテレビ視聴のピークは前8:00～8:30であり、前8:30以後の視聴の減り方が5・6歳よりゆるやかである。朝、幼稚園や保育園に行くため支度をして家を出る5・6歳の就園児と、

就園率が低く在宅時間が長い2歳の生活時間の違いが、テレビ視聴に反映している。

夕方に関しては、2歳児のテレビ視聴が後4時台に急増し、以後夜間にかけておおむねフラットな形で推移する。それに対し、特に幼稚園児の外遊びやおけいごとなどで、帰宅時間がまちまちだと思われる5・6歳の夕方のテレビ

表 13 幼稚園児・保育園児の年齢構成

上段：実数（人）、下段：（%）

	総数	2歳	3歳	4歳	5・6歳
全体	638	118	174	155	191
	100	100	100	100	100
幼稚園児	305	1	78	103	123
	47.8	1	45	67	64
保育園児	207	45	49	46	67
	32.4	38	28	30	35

図 3 テレビ総計（平日）30分ごとの平均視聴率（年齢別）

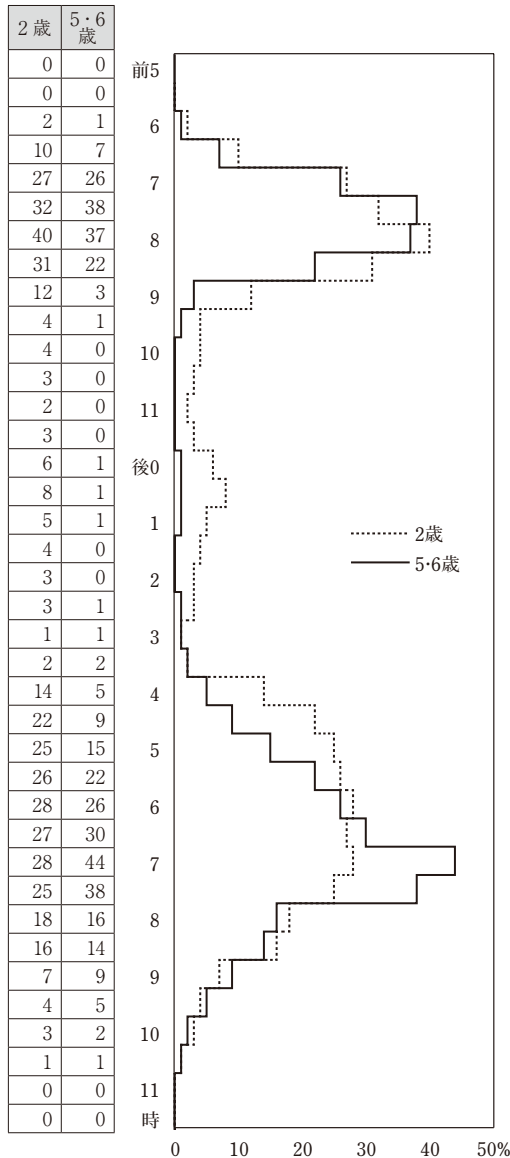
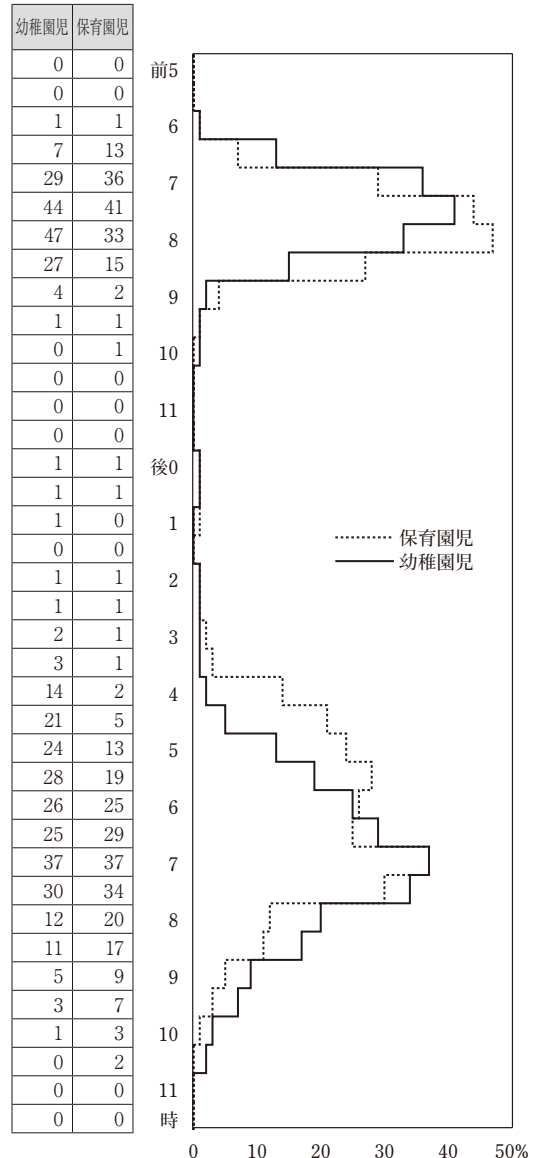


図 4 テレビ総計（平日）30分ごとの平均視聴率（幼稚園児・保育園児別）



視聴は、後4:00以後徐々に増加し、後7時台に2歳よりもはっきりしたピークがみられる。

また、今回の調査から就園児を「幼稚園児」「保育園児」に分けて分析を行った。「幼稚園児」が3歳以後増えるのに対し、「保育園児」の年齢構成は、各年齢でほぼ均等である(表13)。

図4は、幼稚園児と保育園児の平日のテレビ視聴が、どのように推移するかを表したものである。保育園児のほうが、幼稚園児よりも朝家を出る時間が早い⁵⁾ことを反映して、保育園児のテレビ視聴は、幼稚園児よりも早く、前7時台後半にピークを迎える。また夕方に関しては、幼稚園児のほうが保育園児より帰宅時間が早い⁶⁾ため、後4:00以後は保育園児よりテレビ視聴が多いが、後7:30～8:00に逆転して保育園児のテレビ視聴が幼稚園児を上回り、以後の夜間は、保育園児のほうが遅くまでテレビを見ていることがわかる。

表14は幼稚園児・保育園児別にみた視聴率上位番組である。2・3歳児の占める割合は幼稚園児より保育園児のほうが高いにもかかわらず、低年齢の幼児に人気のある「いないいないばあっ!」が保育園児の高位番組に入っていない。また、保育園児の「おかあさんといっしょ」の視聴率は、幼稚園児よりも有意に低い。保

育園児は幼稚園児よりも早く家を出るため、幼稚園児ほど平日の朝にテレビを見る時間がないのではないかと推察される。

なお、平日のテレビ平均視聴時間は、幼稚園児が2時間2分、保育園児が1時間51分で、有意差はない。

2. NHK Eテレの視聴状況

(1) 拡大した朝6:00台の番組が好調

今年度、Eテレではこれまで前7:00だった「朝の幼児・子どもゾーン」のスタートを前倒しにし、前6:35から新番組「フックブックロー」をはじめとする幼児・子ども向け番組を編成した。今回の調査では、その前6時台がよく見られ、その流れで続く前7時台・8時台も前年度の好調を維持し、視聴率をさらに伸ばしていることがわかった。7歳以上を対象とした今年6月の全国個人視聴率調査でも、同様の傾向がみられた。

平日朝の主な番組の視聴状況(表15)をみると、朝6時台の「フックブックロー」(前6:35～)、「クッキンアイドル アイ!マイ!まいん!」(前6:45～)、「Eテレ0655」(前6:55～)、前7時台の「シャキーン!」(前7:00～)は、それぞ

表14 NHK・民放全体 幼稚園児・保育園児別によく見られている番組(放送時間10分以上)

幼稚園児					保育園児				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
火	前8:01	Eテレ	# おかあさんといっしょ	42	日	後6:30	フジ	サザエさん	40
日	後6:30	フジ	サザエさん	41	日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	38
金	後7:00	朝日	ドラえもん	39	日	前8:00	朝日	仮面ライダーオーズ	34
日	後6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	38	金	後7:00	朝日	ドラえもん	31
火	前8:25	Eテレ	# いないないばあっ!	36	金	後7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	30
日	前8:00	朝日	仮面ライダーオーズ	35	日	前8:30	朝日	スイートプリキュア♪	30
火	前7:45	Eテレ	# みいつけた!	34	水	前8:01	Eテレ	# おかあさんといっしょ	29
金	後7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	33	日	前7:30	朝日	海賊戦隊ゴーカイジャー	28
日	前8:30	朝日	スイートプリキュア♪	31	月	前7:15	Eテレ	# アニメ はなかっぱ	27
木	前7:30	Eテレ	# にほんごであそぼ	29	土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	27

「フックブックロー」
(Eテレ 平日 前6:35, 後5:50)



れ前年同時間帯に比べ視聴率が上がっている。新たに「朝の幼児・子どもゾーン」になった時間帯で昨年編成されていたのは主に大人向けの語学番組であり、幼児の視聴率は極めて低かった。そこに今年、幼児・子ども向け番組が編成され、幼児の視聴率が前年より大きく上がったのである。幼児の早起き傾向が強まっている生活時間の変化⁶⁾に基づいた改定の成功例であるといえよう。

前6:35から幼児・子ども向け番組が始まることで、これまで同じ時間に放送されていた「Eテレ0655」が幼児に新たに認知され視聴率が上がり、同様に「シャキーン!」も前年よりよく見られている。この「シャキーン!」は、今年6月の全国個人視聴率調査において最も視聴率が高いEテレの番組である。

また、前年移設され視聴率が上がった「みいつけた!」(前7:45～)、「おかあさんといっしょ」(前8:01～)がさらに視聴率を伸ばし、続く「いないいないばあ!」(前8:25～)も30.5%と30%を超えた。「朝の幼児・子どもゾーン」では、前8時台前半が最もよく見られているが、就園児が家を出た後の前8時台後半は視聴率が下がっている。前8:00以後、5・6歳の視聴率が全体に比べて低いが、これは5・6歳児が登園し在宅していないためであり、入れ替わるように、前8時台後半から未就園児が多い2歳の視聴率が高くなる。

表 15 平日・朝の主な E テレの番組・男女年齢別視聴率

() は前年の同時間帯の番組の視聴率 () は前年の同番組の視聴率 (以下同様) (%)

番組名	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
前6:35 フックブックロー	2.5 (0.4) *1	3	2	2	3	3	2
前6:45 クッキンアイドル アイ!マイ!まいん!	6.1 (1.1) *2	7	6	8	7	6	5
前6:55 Eテレ0655	6.1 (1.1)	7	6	8	7	6	5
前7:00 シャキーン!	16.2 (12.2)	17	15	17	16	18	13
前7:15 アニメ はなかつぱ	21.0 (17.2)	22	20	19	22	25	18
前7:25 ビタゴラスイッチ ミニ	21.0 (19.3) *3	22	20	19	22	25	18
前7:30 にほんごであそぼ	23.6 (20.3) *3	25	22	22	24	31	19
前7:40 アニメ リタとナントカ	23.6 (22.3) *3	25	22	22	24	31	19
前7:45 みいつけた!	28.7 (22.9) *3	29	29	26	31	35	24
前8:01 おかあさんといっしょ	36.1 (29.8) *3	36	36	36	41	42	28
前8:25 いないいないばあ!	30.5 (26.9)	30	32	34	35	32	23
前8:40 プチプチ・アニメ	27.8 (24.5) *4	26	29	32	33	28	22
前8:45 えいごであそぼ	18.4 (17.3)	18	18	25	23	18	11
前8:55 てれび絵本	18.4 (17.3)	18	18	25	23	18	11

注：前年の視聴率は、2011年の番組と重なる時間帯で放送された各番組の視聴率を、重なる時間の長さによる重み付けをして計算した。
例)「みいつけた!」の時間帯は、前年は前7:40～7:55「みいつけた!」(22.3%)が10分間、前7:55～8:00「プチプチ・アニメ」(22.7%)が5分間、前8:00～8:25「おかあさんといっしょ」(29.8%)が1分間重なっているため、10:5:1の割合で重み付けをして視聴率を計算した。
*1 前6:35～6:40「まる得マガジン」(0.4%)、6:40～6:45「Jブンガク」(0.4%)。 *2 「リトル・チャロ2 英語に恋する物語」
*3 前7:25～7:35「にほんごであそぼ」(19.3%)、7:35～7:40「アニメ はくちろ!」(21.3%)、7:40～7:55「みいつけた!」(22.3%)、7:55～8:00「プチプチ・アニメ」(22.7%)、8:00～8:25「おかあさんといっしょ」(29.8%)。 *4 「ビタゴラスイッチ ミニ」
濃い網掛けは全体より統計的に高く、薄い網掛けは低い(以下同様)

平日・夕方の主な幼児・子ども向け番組では、「えいごであそぼ」(後4:05～)の視聴率が前年より下がったほかは、大きな変化はない。年齢別にみると、表16に示すとおり後4時台の番組を3歳がよく見ている。4・5時台は5・6歳の視聴率が全体と比べ低いが、この時間にはまだ帰宅していないことも考えられる。後6時以後は、視聴率に年齢による違いはみられず、「アニメ おじゃる丸」(後6:00～)、「アニメ 忍たま乱太郎」(後6:10～)が2歳から5・6歳まで幅広い年齢の幼児に見られている。

土曜の朝(表17)をみると、各番組の視聴

率は前年と同程度であった。平日同様、「おかあさんといっしょ あつまれ!土曜日」(前8:00～)など前8時台の番組が幅広い年齢でよく見られている。新番組「デザイン あ」(前7:00～)、続く「モリゾー・キッコロ 森へいこうよ!」(前7:15～)、および前9時台の「アニメ ひつじのショーン」(前9:00～)は男児によく見られている。

前年新設された日曜前7時台の幼児・子ども枠も、引き続き好調である。「アニメ ペンギンズ2」(前7:00～, 4.8%)、「みいつけた!さん」(前7:25～, 6.0%)は、ともに前年より視聴率が上がっている。

表16 平日・夕方の主なEテレの番組・男女年齢別視聴率

番組名	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
後4:00 プチプチ・アニメ	8.3 (11.4)	7	10	10	13	9	3
後4:05 えいごであそぼ	8.3 (18.5)	7	10	10	13	9	3
後4:15 つくってワクワク	10.6 (13.7)	9	12	13	16	12	4
後4:20 いないいないばあ!	11.7 (10.2)	10	13	14	17	13	4
後4:36 おかあさんといっしょ	13.2 (12.3)	12	15	16	19	15	5
後5:00 みいつけた!	18.9 (15.1)	18	20	22	23	23	10
後5:15 にほんごであそぼ	18.9 (18.0)	18	20	22	22	22	11
後5:25 ビタゴラスイッチ ミニ	18.9 (18.5)	18	20	22	22	22	11
後5:30 アニメ はなかつぱ	21.9 (20.4)	19	25	23	25	26	16
後5:40 クッキンアイドル アイ!マイ!まいん!	21.5 (19.8)	18	25	22	25	24	16
後5:50 フックブックロー	21.1 (19.3)*1	18	25	21	25	23	17
後6:00 アニメ おじゃる丸	15.5 (15.3)	15	17	15	14	17	16
後6:10 アニメ 忍たま乱太郎	14.2 (14.4)	13	15	13	13	16	15
後6:20 (月～木) 大!天才てれびくん	9.9 (9.7)*2	9	11	8	7	12	12

*1 2010年は「クイントット」 *2 2010年は「天才てれびくんMAX」

表17 土曜・朝の主なEテレの番組・男女年齢別視聴率

番組名	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
前7:00 デザイン あ	6.7 (6.7)*1	9	4	8	5	5	9
前7:15 モリゾー・キッコロ 森へいこうよ!	8.8 (7.5)	12	6	9	8	7	12
前7:30 つくってあそぼ	11.8 (13.0)	14	9	11	10	12	14
前7:45 しぜんとあそぼ	11.9 (14.0)*2	14	9	12	10	12	14
前8:00 おかあさんといっしょ あつまれ!土曜日	23.8 (21.4)	25	23	28	23	27	20
前8:25 クイントット	26.4 (23.6)	27	25	30	26	29	22
前8:35 アニメ おさるのジョージ	27.8 (23.8)	29	26	30	29	29	24
前9:00 アニメ ひつじのショーン	7.9 (5.8)*3	10	6	11	10	9	4

*1 「ビタゴラスイッチ」 *2 「ざわざわ森のがんこちゃん」 *3 前9:00～9:25「アニメ メジャー5」(5.8%)

(2) よく見られた朝8時台の番組

Eテレでよく見られた番組は表18のとおりである。最も視聴率が高かった「おかあさんといっしょ」と2位の「いないいないばあっ!」, および「アニメ おさるのジョージ」「クインテット」など平日・土曜の前8時台の番組が並び, 上位10番組中の半数を占める。そのほか, 「フックブックロー」など平日後5時台の番組が3本入っている。これらの上位番組の顔ぶれはほぼ前年同様だが, 視聴率は全体的に前年より高めである。

表18 Eテレでよく見られている番組
(放送時間10分以上) (%)

曜日	放送時刻	番組名	視聴率
金	前8:01	# おかあさんといっしょ	36.9
火	前8:25	# いないないばあっ!	32.8
木	前7:45	# みいつけた!	29.8
土	前8:35	アニメ おさるのジョージ	27.8
土	前8:25	クインテット	26.4
木	前7:30	# にほんごであそぼ	25.5
火	後5:50	# フックブックロー	24.1
火	後5:40	# クッキンアイドル アイ!マイ!まいん!	24.0
月火	後5:30	# アニメ はなかっぱ	23.8
土	前8:00	おかあさんといっしょ あつまれ!土曜日	23.8

3. ビデオ利用状況

(1) 2歳児に多いビデオ利用

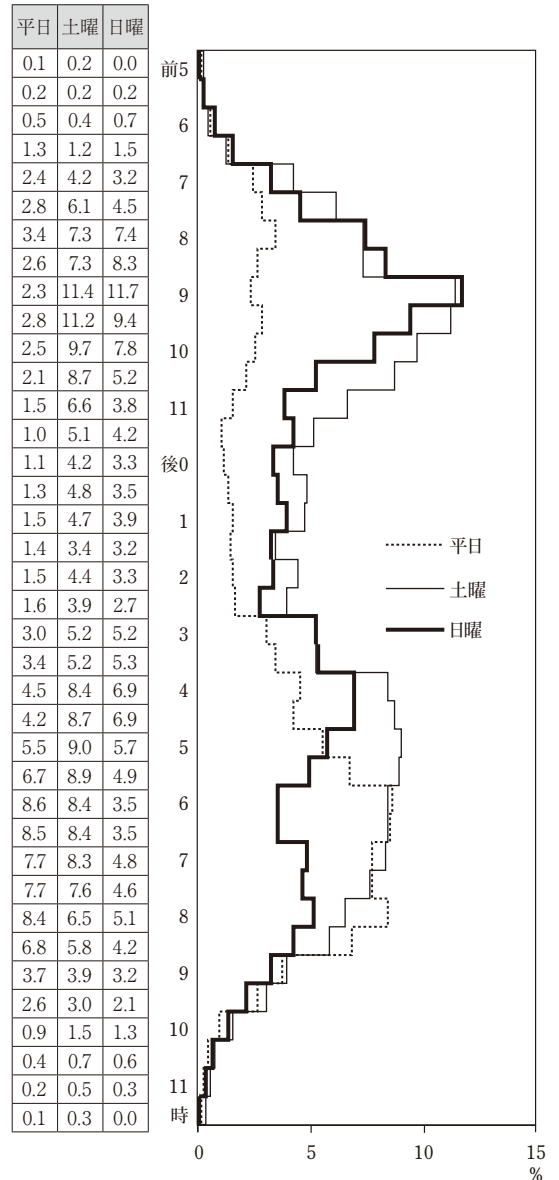
1日あたりのビデオの再生時間(所有していない幼児も含めた)は40分で, 前年(40分)と変わらない。年齢別にみると(表19), 2歳49分, 3歳41分, 4歳34分, 5・6歳は39分であり, 2歳で長めである。

ビデオをよく利用している時間帯は, 平日は後6時~8時台, 土曜・日曜の朝8時~10時台, 土曜後4時~7時台である(図5)。

表19 1日のビデオ再生時間(週平均)

	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
09年	39	43	33	44	40	36	34
10年	40	44	34	50	43	34	35
11年	40	41	40	49	41	34	39

図5 30分ごとのビデオ利用率(前5:00~前0:00)



(2) 再生して見るのは録画番組

今回は、幼児が「ふだん録画したテレビ番組と市販のビデオ・DVDソフトではどちらを多く見るか」とたずねたところ、「市販のビデオ・DVDソフト」よりも「録画した番組」を見ることが多いという傾向がみられた。今回設問を変更し、「録画した番組」と「市販のビデオやDVD」それぞれの1日の再生時間をたずねた。その結果、「長時間（1時間以上）見る」のは録画番組（21%）のほうが市販ソフト（13%）より多く、「ほとんど、まったく見ない」のは市販ソフト（47%）のほうが録画番組（32%）よりも多かった。したがって、ふだん市販ソフトよりも録画番組のほうがよく再生・視聴されている傾向は、前回と変わらないといえる。

ちなみに、最もよく利用している録画・再生機は「DVD」が前年より減少し（全体の43.8%→28.7%）、「HDD」が前年より増加した（全体の33.2%→48.6%）。

まとめ

これまでみてきたように、近年の幼児のテレビ視聴は安定しているものの、幼児の生活時間や母親の視聴時間などは少しずつ変化している。従来の安定したテレビ視聴を維持すると同時に、今回のEテレの改定のように、幼児のテレビ視聴にかかわる状況の変化に合わせて変わっていくことも、幼児番組には求められているのではないだろうか。

（つかもと きょうこ）

注：

- 1) 平田明裕 / 塚本恭子 / 西久美子「テレビ・ラジオ視聴の現況～平成23年6月全国個人視聴率調査から～」『放送研究と調査』2011年9月号
- 2) 山田亜紀「幼児はテレビをどう見ているか～平成22年6月『幼児視聴率調査』から～」『放送研究と調査』2010年10月号
- 3) 後藤憲子他『第4回幼児の生活アンケート 速報版』ベネッセ次世代育成研究所2010年
- 4) 中野佐知子「多様化する幼児のメディア利用 幼児生活時間調査2003・報告」『放送研究と調査』2003年8月号
- 5) 3) と同じ
- 6) 3) と同じ